

平成22年6月25日(金)

(財)森林文化協会主催の野外セミナーが パイロットフォレストで開かれる

(財)森林文化協会主催の野外セミナーが、霧多布湿原を主たるフィールドとして6月25日(金)～27日(日)に行われました。この「野外セミナー」は、各地の特色ある森と文化を学ぶ野外講座で、全国の森を訪ねるシリーズやエコツアー、里山をフィールドとした森林作業講座などが開かれています。

今回の野外セミナーには関東地方を中心に18名の方の参加があり、パイロットフォレストの視察は25日の午後行われました。研修棟でパイロットフォレストの造成の歴史や施業の現状を説明した後、機械展示庫で当時使用した大型造林機械を見学しました。その後、ミズナラやシラカンバ、カラマツの林の中を歩く遊歩道を散策し、別寒辺牛湿原の際まで降りて湿原植物を観察しました。さらに、パイロットフォレストの望楼に登り、約1万ヘクタールに及ぶ根釧原野の荒地を森林に再生させた様子を見てもらいました。参加者の皆さんは、地平線まで続くカラマツ林の広がりには驚きの声を上げていました。(上席自然再生指導官 中島)



望楼から見たカラマツ林



チップ歩道を散策



湿原を渡る木道から別寒辺牛湿原を望む



ユニバーサルデザイン木道を散策